

モルゲンロート-3

第3号 平成 28 年 (2016年) 11 月 1日 (火)

杉村ひろし後援会活動通信誌、原則春秋発行全戸配布
連絡先 浦富1690番地1 杉村宏 TEL 0857-72-0981

モルゲンロートとは、登山用語で、朝日が高峰の頂きよりあたり始め、明るいオレンジ色に輝く様です。

杉村宏が高校総体で南アルプス北岳の輝く姿を觀て感動し、明るい今後でありたいとの想いから誌名としています。

目次 P1 H27.9月一般質問、P2 H27.12月一般質問
P3 H28.3月一般質問、P4 町民の声、町外研修等

《平成27年9月15日 杉村宏議員一般質問》

1 (問) きなんせ岩美の出だしの印象は

(答) にぎわった

杉村 7月 20 日に開業したが、出だしの印象はどうか。

町長 交通量も多くにぎわった。

杉村 生産者や消費者の声はどうか。

町長 農産物は生産者・消費者共に喜んでいただいている。海産物は、漁が少ない時期だった。

2 (問) 総合戦略における町民の主体的な取り組みは

(答) できるだけ伝えていきたい

杉村 戦略は、実行が重要だ。どう町民に主体的な参加、実行、取り組みをしていただくよう働きかけるか。

町長 動機づけを行政がする課題ではない。計画はできるだけ伝えていきたい。

杉村 戦略は策定が目的でなく、実行することにある。戦略策定時期を町民参画よりも優先されたことはないか。

町長 住民の参画をないがしろにしていない。

杉村 戦略には、36 の重要業績評価指標がある。町民の寿命や健康である年齢も延びている。元気な 65 歳以上の方々に、どのような分野での活躍を期待するか。

町長 農業、漁業の生産技術。認定農業者や担い手だけで岩美町の農業が存立していない。高齢者の健康づくり、維持をしていただきたい。退職者も地域のコミュニティーのリーダーとして、農業の生産活動が必要。

杉村 岩美町は未婚率が高い。考えはないか。

町長 婚活をしっかりやる。30代、40代までも含めて同窓会を行い、出会いの機会をつくる。

杉村 家事、育児、忙しい日常を過ごしている女性に、どのような分野での活躍を期待するか。

町長 男女共同参画が進むかが第一だ。子育てを行政や地域社会の支援が進んでいくかにかかっている。農林水産物の加工、観光、民宿のおかみさんも非常に重要。

杉村 女性を取り巻く環境は、育児と介護のダブルケア、実家の親の遠距離介護、夫の病気は妻の責任とばかりのハラスメント、現状では女性が多くの役割を果たされている。無理のない範囲内でご活躍を期待する。

3 (問) 看護師、保育士の働きやすいよう短時間就労は

(答) 安全第一で進めている

杉村 働きやすい職場を目指す鳥大病院に、全国から看護師が殺到している。岩美病院も看護職員の不足が続いている。多くの人材が職場として考えていただけるよう、看護師が短時間の就労でも勤務できる検討を。

病院管理者 必要看護師数を守り運営。医療は安全第一。臨時職員の募集では、短時間就労を希望どおりに行っている。正職員は、産前休暇の1カ月前や1歳未満で育児休業から復職した職員の方には、夜勤の免除、休暇や夜勤の希望日等を考慮し、復職しやすい環境をつくっている。病後児保育も、既に行っている。仕事と家庭とワーク・ライフ・バランスで、東部で一番最初だった。仕事と育児等の調和を看護師がみずから取り組んでいる。

杉村 保育士も慢性的な人材不足ではないか。短時間就労の検討はどうか。

町長 希望される勤務体系によって勤務が可能か判断する。門戸を広げ取組む。

4 (問) 沖合底曳き網漁業生産体制の維持は

(答) 意欲のある漁業者を応援していく

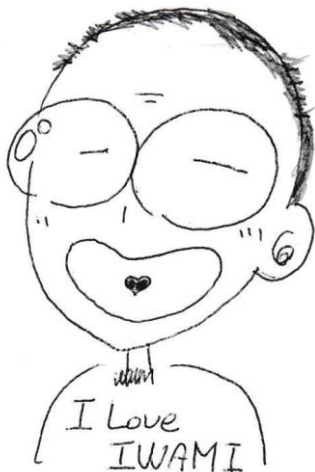
杉村 27年5月に海難事故で沈没した沖底船の事業者は、中古船を購入され、機器、漁具に補助を受け整備し、本年のカニ漁からの操業とされた。早期の再開に事業主や関係者の努力に敬服する。しかし、沖底船の使用限界は、30年程度と言われ、網代港支所所属の 10 隻中7隻



高校生の方からいただいた似顔絵です

が 26 年から 30 年前後、田後漁協所属の 10 隻中7隻が 27 年から 30 年だ。事業継続や代船手当ての主体は事業者で、主体的な判断を尊重するが、町に与える影響が大きく、急激な減船の可能性もあり、代船対策は喫緊の課題だ。町民全体で漁業の現状を共有していく問題である。代船対策の展望はどうか。

町長 漁船更新の補助制度は、全国のどこの町村よりも進んで取組んでいる。リース漁船制度、もうかる漁業制度、リシップ制度を駆使し取組んできた。全ての漁船を行政が肩がわりでもしてつくっていくのはできない。乗組員の住所地、水揚げの場所、田後船は9割以上が境港で揚がっている。網代もだんだん境港で水揚げをする。網代で陸揚げしても陸送し境港で売る。水産加工が町にない。漁獲量が減り、消費者の魚離れ、日韓の漁場の問題、漁船をつくることだけに集中すべきでない。船主の責任でつくるのが基本原則だ。意欲があり、漁業の継続を何としてもやるんだという方は、応援していく。



お姉様からいただきました

《平成27年12月15日 杉村宏議員一般質問》

1 (問) 集落排水と浦富公共下水の接続は地元の説明を (答) 議員と相談したい

杉村 第2次過疎計画(案)に、「集落排水処理施設の公共下水道への接続に向けた検討、調査を行う。」とあるが、これは東漁集、長谷・白地農集の公共下水道浦富処理区接続に向けた検討と捉えてよいか。

町長 範囲は指摘のとおりだ。

杉村 第1次過疎計画は、網代と大谷を統合とあり、具体的だ。(第2次)の過疎計画の案は、東、長谷・白地と浦富であることが明確であるにもかかわらず、曖昧な表現だ。浦富処理区の処理場建設位置の選定、処理区域の範囲拡大、処理水放流先の河川の環境美化、関係者各位が大変苦慮なされて現在に至っている。案に町の姿勢を具体的に記載すべきで、浦富処理区の処理場

が立地する地元住民に対する誠意ではないか。

地元の理解をいただきながら進めるためには、処理場立地の地区に町の考えを今の段階からよく説明し、進めることを要請する。

町長 2次過疎計画に盛り込むことはためらわれる。不確定要素がある段階で明記することは、住民の皆さんの理解が得られない。

杉村 中身は最初に言われたとおり、東漁集、長谷・白地農集の公共下水道浦富処理区の接続の検討調査ということは明らかにされた。町の姿勢をよく理解いただいた上で進めていただきたい。

町長 議員と相談させていただきたい。

2 (問) 県道改良に伴う町道改良は

(答) 議会・地域と議論する

杉村 県主催の役場前の県道拡幅計画説明会が開催された。町道浦富相谷3号線について、サンマートから東に延びる町道の拡幅はどうか。

町長 混雑時は店の配慮で交通整理が常態化している。ここの間だけを改良するのは困難。

杉村 都市計画を拡幅する見込みで引くことはどうか。

町長 都市計画をという考えはない。

杉村 拡幅は行わない、都市計画も変更しない。現道のままだ。浦富ICが来年春に供用開始され県道の交通量は増加する。接続する町道等にも負荷がかかる。

町長 道路の幅員が狭過ぎると想定されれば、議会、地域の住民とも議論する。

杉村 前田川の冠水対策としての暗渠改良について、県道で水路ボックスの入れかえをする計画を進めているとあったが、事業化されていない。見通しはどうか。

町長 県からの回答は、変更してしない。

杉村 いつのことになるのかわからない。婦人の家が拡幅対象範囲に含まれる。どう対応されるか。

町長 建物調査が 28 年度に予定されている。利用者に不便が生じないように考えたい。

杉村 町営バス下坪井バス停停車帯はどう考えているか。

町長 幅員が狭くなってもバスを停車させ乗り降りに問題はない。乗降客がないなら廃止すべきだ。

杉村 危険な道路だ。道の駅まで歩いていけなかったら、バスを利用するしかない。駒馳山バイパス逆走も聞いた。免許証を返上すれば、シニアカーや公共交通が頼りだ。

交通弱者の立場に立ち、安全に乗り降りできるバス停の停車帯のことを考えていただきたいかった。現在の利用

状況だけでなく、利用できかねる現状と進んでいく高齢化を踏まえて判断いただきたい。

町長 改めて町職員、バス停に帯する認識、岩美町の全体的な置かれておる、向かおうとする傾向の中で住民の利便の施設という認識はしっかり持たせるようにしたい。

3 (問)シーカヤックの体験の振興は

(答)安全管理ルールをつくった

杉村 シーカヤックの27年の利用はどの程度か。

町長 本年はシーカヤック 3,147 人、クリアカヌー574 人、合計 3,721 人であった。

杉村 去年の2,291人から3,721人ということで、1,500人に近い増だ。産業として自立できるよう進展してほしい。地元漁業者との支障は生じていないか。

町長 安全管理等のルールをつくった。トラブルはない。

杉村 自己所有のカヤックなどで岩美の海を楽しまれる方々と地元との問題は生じていないか。

町長 旧網代港から100人以上が出入りをしている。

杉村 地元漁業者と支障はないか。安全管理ルールをつくったということだが、周知をする考えはないか。

町長 ルールの徹底を検討させたい。

杉村 昨年、コンテナで艇を収納する応援を示された。発着場所の拠点施設建設はどうか。

町長 現在は渚交流館を拡充すること、県も学習館をジオパークの拠点施設として、充実をさらに進めている。町が格納庫等を整備する考えはない。

杉村 昨年、県と町で応援し、艇収納のコンテナ利用を示した。進捗はどうか。

商工観光課長 網代の旧港の中突堤を県からシーカヤック協議会が借用し、そこを拠点として駐車場、コンテナも置いた。艇の保管場所は、倉庫を借用した。

杉村 ガイドの皆様はどの程度おられ、不足しておられないか。町民の割合はそのうちどれぐらいか。

町長 シーカヤック協議会に所属のガイド数は78名で、そのうち岩美町の方は13名だ。現時点ではガイド数に不足を生じていない。

杉村 町職員のジオ研修で、シーカヤックガイド講習は。

町長 シーカヤックを率先し受講を勧める考えはない。

杉村 ガイド講習受講なされた方に一定の範囲内で、営利企業等への従事許可を出し、ジオ地域振興での活躍していただく検討はどうか。

町長 営利企業の許可まで認める気はない。

4 (問)岩井温泉公衆浴場付近に公衆トイレを

(答)利用者や地元から要望はない

杉村 関係者のご努力で源泉かけ流し宣言も行われ、希少価値の高い温泉として全国にPRいただいている。また、国民保養温泉地に登録されているが、選定基準が改定された。引き続いて指定を受けるための進捗はどうか。

商工観光課長 27年3月に計画書を提出し、来年1月22日現地調査がある。3月中旬に報告書ができ上がる予定だ。

杉村 岩井温泉公衆浴場の利便向上には公衆浴場近辺に公衆トイレの設置が必要だ。

町長 駐車場等も含めて狭隘だ。利用者や地元からの要望等はない。



74歳の方からいただきました

《平成28年3月10日 杉村宏議員一般質問》

1 (問)地域おこし協力隊は活躍したか

(答)それぞれ成果を上げた

杉村 地域おこし協力隊について、最初の3名が3月末で任期満了となる。よく奮闘いただいた。印象はどうか。

町長 成果を上げる取り組みをしていただいた。

杉村 担当事業の評価と見直しはどうか。民宿経営は。

町長 引き続き住み民宿を発展させたいと伺っている。

杉村 民宿経営が縮小している。地域おこし協力隊員としての新たな民宿経営は考えていないか。

町長 民宿に地域おこし協力隊を引き続き(募集)はない。

杉村 鳥越のどんづまりハウス再生支援の評価はどうか。

町長 地区外、町外からお客さんが来るようになり、非常によかった。今後は、近隣集落の人たちが営業をする。

杉村 民宿経営の支援は。評価はどうか

町長 所期の目的以外に大きな成果があった。

杉村 今後の民宿支援、アニメロケ参考地としての受入れ態勢はどう考えているか。

町長 町の観光の部署、観光協会自体が取り組む。

杉村 観光協会は休日なしで対応した。新年度もできるか。
町長 年末年始以外は無休でお客様をお迎えする体制だ。
杉村 3名の隊員の、町内居住や就業の見込み、町が行った支援はどうか。

町長 1名は民宿経営を引続き行う、住まいもそこ。2名は市内企業へ就職。そのうち1名は町内の空家を改修して住む。1名も、町内に住むと言っておられる。

2 (問)道の駅の目玉商品を町民に提案してもらっては (答)お願いしてみたい

杉村 道の駅は昨年末で、補助金 809 万円と減価償却のための 2,561 万円を補助した上で、損失 1,153 万円であった。1年前の収支見込み 334 万円損失を大きく下回り。債務超過と判断されかねない。いわみ道の駅設立協議会は、道の駅オープン後も開催し、意見をいただきたいとされていたが、行った助言はどのようなものか。

町長 取締役会も定款の定めに沿う開催ができていなかった。協議会に経営の報告や意見を伺うことができていない。不徳のいたすところだ。おわびを申し上げたい。

杉村 目玉商品が必要。町民に提案をお願いしては。

町長 アイデアの提供を、ぜひ町としてお願いしてみたい。

3 (問)中央公民館は具体的な案で意見を求めよ (答)具体性を持たせる

杉村 中央公民館建設のスケジュールで、意見交換の期間確保や、具体的な設計案での意見交換はどうか。

町長 具体性を持たせ、パブリックコメントで意見を伺う。

杉村 岩美町は町民の意見を聞こうとする姿勢があることを大事にしたい。

町長 杉村議員と同じ気持ちでパブリックコメントに臨む。

4 (問)渚交流館に町職員の常駐を (答)考えていない

杉村 県のジオパーク推進室の室長以下4名が渚交流館に移ることとなった。県内における山陰海岸ジオパーク行政の中心は渚交流館になる。町の担当者も渚交流館に常駐してはどうか。

町長 担当課もそのような考えを持っていない。

「杉村ひろしが伺います」

活動報告会に代え複数人の集いからお呼び頂ければ、行かせていただきます。選挙権の有無によらず、中高生の集いでも声をかけていただければと思っています。

連絡先は1面右肩に記載(0857局内の発信をお願いします)

「町民の声」 第2号(H27.10.7 発行)配布時など(全部)

◎町議会議員は税金泥棒だ ◎地方創生に頑張ってください ◎全町に、自分で、配っているのですか？ ◎多方面の質問で参考になる ◎ブレンが必要 ◎役に立たない議員は落としてしまいたい ◎働かない議員は落とさないけん ◎いろいろよく勉強している ◎夫は、繰り返し一般質問(の放送)を見させてもらっている ◎面白い情報を載せている ◎繰り返し読んでいます ◎字は小さいが読める ◎ (誌名が)わかりにくい ◎字が小さい ◎気持ちはわかるが文字が多い ◎地元の〇〇町議をよろしくお願ひしたい ◎今の岩美町議会の多数決で意に沿はないことが多くとも、仕方ありません ◎浦富の人が、なんで〇〇に配るのか ◎ (情報誌を)配ることはとてもいいこと ◎繰り返し読んでいます ◎〇町議の役員をしているので応援できないが、町のために頑張っている。〇を指導してください。 ◎期待しています。よく頑張っている。応援している。
(各地区、多くの男性・女性)

28年の主な議員研修(町外)等の参加実績及び予定(公費★、私費☆)

- 1月 28.29日 ★「第3回市町村議会議員特別セミナー」滋賀県
- 3月 19日 ☆ジオサイクリング 50k(鳥取駅~東浜往復)
- 4月 23~28日 ☆益城町震災ボランティア 熊本県
- 5月 16~20日 ☆「新人議員のための地方自治基本コース」滋賀県
- 5月 26日 ★鳥取県新人議員研修 湯梨浜町
- 7月 13.14日 ☆「決算の意義と審査、実践」滋賀県
- 7月 21.22日 ☆「自治体予算を考える」滋賀県
- 8月 5日 ★人権尊重を実現する鳥取県研究集会 米子市
- 8月 17~19日 ☆「地方財政制度の基本と自治体財政」滋賀県
- 8月 26日 ★公報研修会 湯梨浜町
- 9月 9日 ☆道竹城トンネルなどラジオ施設聞取り(国、県)
- 10月 18日 ★「質問力を高める 議会力に活かす」鳥取市
- 10月 26~28日 ★総務教育常任委員会行政視察 南九州
- 11月 11日 ★議員研修会 若桜町
- 11月 15.16日 ★人口減対策に係る先進地視察研修 和歌山県
- 11月 25日 ★議員研修会 北栄町
- 11月 27日前 ☆第1回鳥取すこい！ライド 105kのコース試走(自転車)